

大在中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月28日(木)

伊藤 輝さん 【(株)熊野建設】



演題 現場監督ってどんな仕事？

建築の現場監督をしている伊藤さん。母校での講演です。黒板には「伊藤輝先輩」と書かれていました。「小さい頃から線を描くのが好きだったことがきっかけで、今の職業に繋がりました」と話しました。建設業や仕事の内容等を工事写真を使いながら説明。工事写真は設計図通りに仕事が進んでいるのか、工事の進捗状況を確認したり、見えない部分の証拠写真として残すためのものです。また、2級建築士問題や現場用語をクイズにして、生徒たちに考えてもらいました。実際に使っている建築用メジャーで机の高さなどを計り、レジカウンターなどの高さは法律で決まっていることを話しました。初めての現場で感じたことは「分からないことばかり。建物に愛着がわきます。現場所長として社会に貢献したい」などで、仕事をしながら資格取得の勉強をしているそうです。生徒の皆さんに「とにかくいろいろなことに挑戦してください」と伝えました。

小岩 裕翔さん 【大分キャノン(株)】



演題 仕事を通じて学んだ “毎日を充実させるための考え方”

新製品の立ち上げや図面設計、品質管理を担当する製造技術職の小岩さん。会社や仕事内容の説明のほか、製造しているカメラ製品、特に初心者におすすめのカメラ製品の紹介を行いました。仕事のやりがい「立ち上げた新しいレンズをお店や広告で見ること。自分のアイデアがみんなの仕事に活かされること。頑張った分だけ会社が評価してくれて、周りからも信頼されることです」と話しました。また、生徒全員が実際に一眼レフカメラの持ち方や撮り方を習い、シャッターを切る体験をしました。「毎日を充実したい思考の人は、“責任を持つ”、“面倒でも逃げない”、“とりあえずチャレンジ! ”、そうするといろいろできて、自信がアップし、周りから信頼されます。その結果、多くの充実を経験できます」と伝えたほか、それではどうしたらよいか、具体的なアドバイスがありました。

秋田谷 和音さん 【社会医療法人財団 天心堂へつぎ病院】



演題 言語聴覚士ってなに??

高齢者から子どもまで言語訓練をしている言語聴覚士の秋田谷さん。中学生の人気職業ランキングで言語聴覚士が第3位であり、「話す・聞く・食べる」のスペシャリストだと話しました。リハビリなどの仕事内容の説明をした後、生徒たちにペアワークで飲み込み能力を測定する反復唾液嚥下テストを体験してもらいました。水でむせる人は、とろみをつけた水の方が飲みやすく安全なので、実際にとろみをつけた水を作り、飲んでみたいという生徒が試飲をしました。生徒の皆さんに「自分の好きなこと、興味のあること、楽しいと思えることを将来の仕事にしてみたい」、「中学では友達と楽しく学生生活を送ってください」と伝えました。生徒たちはしっかりと講演を聞いてくれたそうです。

大在中学校 ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月28日(木)

得松 央さん
【生活協同組合コープおおいた】



演題 COOPの広報活動・デザイン

内部広報誌の作成、HPのアイキャッチ作成、ラインアカウント運営等、広報をしている得松さん。母校での講演です。ユニークな自己紹介、仕事に就いたきっかけ、COOPおおいたとは何をやっているのか、宅配事業、店舗事業、生活サービスの説明をし、仕事内容、1日のスケジュールや、商品の紹介で定期的にラジオ出演をしていることなどを話しました。“取材してみようクイズゲーム！「隣の人の好きな食べ物はなんだ？」”では、生徒たちがペアをつくり、直接食べ物の名前を聞くことは禁止というルールのもと、相手への質問は5回までとして、相手の好きな食べ物を当てるペアワークを行い、コミュニケーションの難しさを体験しました。生徒たちに「挑戦、経験を通して表現力、語彙力を磨けば世界が広がります」と伝えました。たくさん質問をしてくれて熱心に聞いてくれたそうです。

河野 しおりさん
【株ヤノメガネ】



演題 メガネ屋の仕事について知ろう！

メガネの販売をしている河野さん。自己紹介、メガネ屋さんの仕事や、メガネが出来るまでの流れ、メガネについて知ろう、と話を進め、「自分も目が悪いのでお客様の目線で考えています」と話しました。自分自身の進路について「自分にとって得意なことは何か、これだけは譲れないことはあるか」を考え、決めていったと説明をしました。生徒の皆さんに「何事もやってみることが大切。やらない後悔よりやった後悔。意外とどうにかなることの方が多い。将来の進路選択にいろいろなことを経験したことが役に立ちます」、「勉強はするに越したことはありません。選択肢が増えます。また、職業によっては勉強が必要になります。入社しても技術的なことを覚えたり、勉強が続きます」と生徒たちに伝えました。

藤田 悠斗さん
【株三井E&S】



演題 これから考えてみてほしいこと

クレーンの配線や配管ルート設計の図面作成、ケーブル等の注文書作成をしている藤田さん。「コンテナを運ぶクレーンを作り世界中でたくさんのモノを動かしています」と会社の説明や、目玉商品を紹介しました。“お客様にあった製品を設計する人のお仕事は？”、“クレーンを作るのに必要な人たちは？”、“具体的に何をしているの？”と話を進め、「クレーンのケーブル（電線）について考えてます。様々なケーブルの中から必要なものを購入しています」ということで、何種類かのケーブルを実際に生徒たちに回覧し、見て触ってもらいました。生徒の皆さんに「自分の好きなこと、やりたいことや目標をこれから考えてみてほしい。勉強、趣味、コミュニケーションなど何でも挑戦してみてください。『なぜ？』って、思ってもらいたいです」と伝えました。黒板には生徒たちが三井E&Sのロゴを書いてくれていました。

大在中学校ヤングキャリアアドバイザー講演会

講演日：令和6年11月28日(木)

大橋 尚弥さん 【大分東警察署】



演題 警察官になってよかったこと

地域の警察官をしている大橋さん。警察官の仕事や組織の説明を行い、実物の防刃衣や警棒、手錠を見てもらいました。グループワークでは生徒たちが鑑識を体験。紙に手を押し当て、黒い粉をつけると手形が浮かび上がりました。生徒たちは不思議そうに驚きながら、楽しく鑑識体験をしました。

仕事について「親戚が白バイ隊員であこがれたのがきっかけです。話を聞いておもしろそうだなと思いました。よかったことは、事件が解決して感謝の言葉を言われたときです」、「警察は嫌われがちの仕事ですが、感謝される仕事です。みんなが今学んでいる勉強をすれば警察官になれます。これを機会に興味を持ってもらって、この中から警察官になる人を待っています」と伝えました。

河野 幹久さん 【大分キャノン(株)】



演題 レンズができるまで

カメラの製造、レンズ加工、オペレーション作業をしている河野さん。大分キャノンについて紹介し、キャノンの製品にはどんなものがあるのか、カメラが完成するまでの流れ等を説明をしました。実際にカメラのレンズとレンズを研磨しているものを回覧し、生徒たちに触れてもらいました。生徒たちは興味深そうに感触を確かめていました。仕事のやりがいは「自分のアイデアや意見で仕事が改善されたとき、スキルアップを実感したとき、ユーザーが使ってくれてたり、ネットやお店で製品を見たときです」と話しました。

生徒の皆さんに「周りの友達とのつながりを大切に、今いる友達を大切にしてください。これから大人になってもつながっていきます」と伝えました。

岩尾 涼祐さん 【大分市中央消防署】



演題 消防の仕事とは

特殊災害消防隊の岩尾さん。消火活動での消火隊の仕事内容や、救急活動、救助活動を例をあげながら説明をしました。生徒たちに「人を助ける仕事ですが、まずは自分の命を守ること」と伝えました。現場を支えるいろいろな業務、特殊災害（NBC災害）とは何か、消防士になるための試験の内容や消防学校時代、仕事の勤務シフトなどの話をしました。防火衣はポンベや安全靴を含めると総重量は約20kgもあり、この状態でトレーニングを行うと話しました。代表の生徒が実際に防火衣の着用体験を行い、盛り上がりました。

生徒の皆さんに「挑戦と失敗をいっぱいしてください。1日1日を大切にしましょう。家族、友達を大切にしましょう」、「しっかり目標を持ってください。勉強はしておいた方がいいです」と伝えました。

1年生9クラス。生徒たちは小さい世界を広げ新しい発見があったようです。